

常任委員会レポート

■総務委員会

●平成23年度袋井市一般会計補正予算 (第3号)

—津波避難施設整備事業費補助金—

Q 民間の施設へ整備する津波避難施設は、何カ所設置予定で、避難者は何人ぐらいを予定しているか。

A 民間の津波避難施設は、現在8カ所を予定している。避難者は、住民が1,760人で、民間企業の従業員が810人の合計2,570人である。

●平成22年度袋井市一般会計歳入歳出 決算認定

—木造住宅耐震補強助成事業補助金—

Q 木造住宅耐震補強助成について、補助率を引き上げた効果をしっかり検証すべきであると思うがどうか。

A 他市の事例を見ても、補助率を上乗せしている所は、進捗率が高い。木造住宅の被害が予想されているので、この事業の効果は大きいと考えている。

●平成22年度袋井市一般会計歳入歳出 決算認定

—地域を明るくするコミュニティ活動事業交付金—

Q 地域の事業が継続して行っていくのはよいが、地域で創意工夫することによって、活用の方法の幅を広げていく考えはないか。

A この事業は、地域の連帯感の醸成に繋がるものと考えている。この事業の柱として幅広い活動ができるよう地域と協議をしていきたい。



地域を明るくするコミュニティ活動事業として行われた被災地での木原大念仏

■民生文教委員会

●平成23年度袋井市一般会計補正予算 (第3号)

—教育施設津波対策事業—

Q 浅羽南小学校の屋上フェンスはどのように整備していくのか。

A 南校舎、中校舎の屋上をフェンスで囲うこと、北校舎の2階から中校舎へ渡れるような形の工事を考えている。

●平成22年度袋井市一般会計歳入歳出 決算認定

—のびのび園庭グリーン事業—

Q PTAで芝生を管理し、NPO法人に指導を委託していくということだが、どのような方法で管理していくのか。

A 現在4園にスプリンクラーを設置し、職員の手を煩わせないように配慮している。また、芝刈りの作業は、保護者や職員に対応していただいている。今後も、地域や企業にもご協力いただき、育成団体を組織していく計画である。